

令和4年度 第3回 東近江市市民協働推進委員会 会議録

◆開催日時 令和4年11月1日(火) 19:00~21:00

◆開催場所 東近江市役所 319 会議室

◆出席者

市民協働推進委員 深尾 昌峰、辻 薫、小嶋 一浩、水谷 友彦、園田 由未子、
綾 康典、小島 秋彦、富田 由美子、藤澤 彰祐、藤 一道、
小島 淳司、朝比奈 遥、若林 理恵、笠原 健司

(欠席：奥田 新悟)

まちづくり協働課 中江、岡崎、西川、松居(事務局)

◆議題

- (1) 「共に考え、共に創る」わがまち協働大賞について
- (2) 市民協働推進計画の見直しに向けて

<中江管理監>

協働大賞のヒアリング、御協力いただきありがとうございました。

欠席者は奥田 新悟委員です。それでは、進行を深尾委員長にお願いいたします。

<深尾委員長>

本日もよろしくお願いたします。あっという間に11月になりました。わがまち協働大賞のヒアリングも無事終わったと聞いています。

本日は、1つ目は「わがまち協働大賞」について議論したいと思います。2つ目は、今回のメインとなります、市民協働推進計画の見直しについて、前回の議論をさらに深めていきたいと思います。

では、1つ目の「わがまち協働大賞」について、事務局から説明をお願いいたします。

<事務局>

【資料1】について説明。

- ・市民投票は11月21日から12月16日までを予定
- ・11月4日(今週の金曜日)がヒアリングシートの提出締切日です。まだ提出いただいていない方は、事務局まで御提出をお願いします。
- ・11月18日までにこちらからヒアリングシートを送付します。そちらを確認いただき、最終選考シートに採点をお願いします。最終選考シートを12月19日必着で事務局へメールにて御提出ください。
- ・採点基準については、前回いただいた意見をもとに、「波及性・継続性」と「発展性」を10点にしています。

- ・次回の1月23日の市民協働推進委員会で、最終選考を行います。
 - ・3月4日にわくわくこらぼ村を実施します。協働大賞の表彰式を行います。
- 【資料2】について…今回のヒアリング内容をまとめたものになります。以上です。

<深尾委員長>

ありがとうございます。今のところで御質問などはいかがでしょう。

→質問なし。

はい。質問は特に無しということで、ヒアリングに対しての意見、感想などあればお願いします。

<委員>

今回初めてヒアリングに行きましたが、場所が分かりませんでした。まちづくりネット東近江に行かなければいけなかったのに、誤って市役所の方に行ってしまいました。

<深尾委員長>

初めて行く場合は場所が分かりづらいことがあるかもしれません。その辺り次回に向けて検討いただければと思います。

<委員>

ヒアリングシートについて、自薦については協働した団体を書く欄があったが、他薦についてはその欄が無かったため、協働関係が分かりづらかったです。自薦、他薦ともに様式を統一していただければと思いました。

<委員>

私も初めてヒアリングに参加したので、初めて行く人には地図やスリッパはあるのかなど分かりやすく情報がほしかったです。また、ヒアリングシートは一から記入が必要で大変だったので、団体名などあらかじめ分かることは記入した状態で送っていただきたいかったです。

私はもともと市外出身なので、協働した団体名も、一度聞いただけでは分かりづらかったです。そのため、ヒアリングシートを持ち帰った後に記入することは難しいと思ったため、ヒアリングした時に藤さんの御厚意でPCをお借りして、入力していました。

<委員>

今回ヒアリングを実施した方に、途中から事務局に入ったため、団体の立ち上げの経緯を聞いても分からないとおっしゃられていた方がいました。ヒアリングする時は、事前にヒアリング内容を伝えておいた方が良いのではないかなと思いました。

<委員>

私も他薦の協働関係については、自薦と同じように欄を設けてほしいと思いました。

<委員>

今回、私がヒアリングした団体は2組ともまちづくり協議会関係の団体でした。そのため、「協働」なのか分からなくなってしまった部分がありました。まちづくり協議会は、市民との協働が当たり前とってしまいます。

<委員>

エントリーシートを書き方があまり良くなく、伝わりにくい団体がありました。幸い、ペアの委員が詳しく聞いてくれたので、ヒアリングして初めて概要が分かりましたが、エントリーの際にきちんとレクチャーしているのかと思ってしまいました。もしかしたら、今回落選した団体でもヒアリングすると素晴らしい取組をしているところもあるのではないのでしょうか。次回からは全部の団体にヒアリングした方が良いのではないかと思います。

<深尾委員長>

近年の応募数だとすべての団体にヒアリングすることは可能かもしれませんが、数が多くなると難しいかもしれませんが……。エントリーシートはある程度簡易的にしていますが、来年度はもう少し検討した方が良いかもしれません。

他に意見のある委員さんはいらっしゃいますか。

<委員>

今回ヒアリングした団体には、何らかの賞が受賞できるようにしてほしいと思いました。

<深尾委員長>

ありがとうございます。他に意見のある方はいらっしゃいますか。無ければ、今後のわがまち協働大賞についてのスケジュールは確認できたということで、今回の議論はこれにて締めたいと思います。

続きまして、議事の2つ目、市民協働推進計画の見直しに向けて進めていきたいと思いません。

<委員>

ロジックモデルについて、説明します。お手元のレジュメを御覧ください。1枚めくった資料がロジックモデルの例を示したものです。例えば、目指す理想像として、「異性にモテるようになりたい」という理想があったとします。それに対して現状は、「モテるために何もしていない」という状態です。課題として、「運動不足で体重が増加している」、「洋服を

自分で買ったことがない」などあげられると思います。目指す理想像に近づけるために、中期アウトカムとして「体重を減らす」、「おしゃれになる」「内面の魅力を高める」といった結果を設定します。結果に近づけるための活動内容として、「体重を減らすために運動メニューを作成する」、「おしゃれになるために表参道に一緒に買い物に行く」といった活動内容を決定します。こちらは分かりやすい例ですが、次のページではこのロジックモデルをまちづくりネット東近江の事業計画概要図として作成しています。以上がロジックモデルの説明です。

<深尾委員長>

ありがとうございました。ロジックモデルとは、「よさげな政策がロジカルに良いものとなっているかを考える」ものであります。逆に言えば、今がそうじゃないということになります。通常は、こういったモデルは左側の現状から考えていくこととなりますが、ロジックモデルは右側の長期アウトカムから考えていくための手法です。こういったアウトカムを意識しながら、地域のコミュニティを作った方が、住民の幸せ度は高いです。

例えば、町内会に入っていない人は切り捨ててよいのかという問題がありますが、市がやらないといけない施策が分かるようになります。途中のプロセスで、市が正義としてやっていくこととなります。限られたリソースをどう分配するか、議論する中で他のものにつながっていく可能性もあります。

<委員>

そうですね。まちづくりネット東近江でも、実際動き出してみると、日本語教室をやっているといったこともあります。

<深尾委員長>

方法論については、変わっても構いません。ロジックモデルについて興味のある方は、本とかも色々出ていますので読んでいただければと思います。

では、前回までの振り返りについて、事務局から説明をお願いします。

<事務局>

【資料3】について説明。

前回は、活発な議論をいただきありがとうございました。前回のグループワークで出していた意見をもとに、5つに分類しました。事前に委員の皆様にはメールで意見等をお送りさせていただきました。

資料一つ目は、「地域資源をいかし地域愛を醸成」、二つ目は、「若者の挑戦をまちづくりへ、地域を学びのキャンパスへ」、三つ目は、「地域活動の促進 多様な業種・立場の人たちが情報交換できる」、四つ目は、「まちづくりへの市民参加の促進」、最後が「助け合えるま

ち 共生社会の実現「寛容とゆとりある地域づくり」です。

資料3の2枚目以降は、それぞれの項目を拡大したものです。現在の基本施策に対応しているものは、右側にそれぞれ記載しています。今回のグループワークでは、そのうち①②について話し合っていたいただきたいと思います。

<深尾委員長>

はい。資料3でまとめているのは、「こういう東近江市にしたい」という思いです。例えば、「①地域資源をいかし地域愛を醸成」の中の「自然環境との共存・農業によるまちづくり」ですと、「自然と共存できるまちづくり」、「食の現場をまちが支えるしくみを。CSA（地域支援型農業）など」、「オーガニック給食。せめて地域農産物給食。」という意見があって、協働の関係やプラットフォームにつながります。また、その下にあるデジタル通貨などは、さけて通れない仕組みとなっています。

今は、どちらかという、まとめより意見をどんどん出して、風呂敷を広げる時期にきています。皆さんには、生活者としての思いを言っていたきたいです。市民協働推進計画を作っているという意識はせずに、今日は①②の項目を中心に、こういうポイントがあるよね、という話し合いを進めてください。いきなり五つの項目を全体でやると意見が散らばってしまうので、計画に反映できるかは別になりますが、今の枠組みにとらわれず、「こういう観点もあるよ」という意見を、言いつばなしでもよいですし、日本ではやっていない取組であってもよいので、出し合ってください。

【グループワーク実施】

2グループに分かれ、①②について話し合いを進めた。

<事務局>

- ・次回第4回市民協働推進委員会：1月23日（月）
- ・まちのわ会議：1月30日（月）

<深尾委員長>

次回はよいよわがまち協働大賞の最終選考となります。皆さんどうぞよろしくお願いたします。以上で第3回協働推進委員会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

午後9時00分会議終了